

# 「東お多福山ススキ草原復元」活動報告

秦 康夫

2015年10月7日（水）9:00～15:00

作業項目：1）作業済調査区の植生調査

2）特別保護区登山道沿いのネザサ刈り

今日は秋の植生調査とネザサ刈りの作業日。通常なら土樋割峠まで車で上がれるのだが、7月の台風で林道の4ヶ所が崩壊したため車の通行が不能となり、登山口から全員徒歩で東お多福山まで登った。総勢49名のうち6名は植生調査を担当、それ以外は2班に分かれてネザサ刈りを行った。

作業場所は、登山口から東お多福山に至る登山道の山頂から下部への約220mと、展望台（仮称）への脇道約80m。幅1m程の登山道の両側各1.5m幅のネザサを全部刈り取り、登山道を歩きやすく、かつ明るくするのが目的である。

刈払機4台を駆使して背丈より高いネザサをざっと刈る一方、手鎌や長鋏で植生に注意しながら丁寧にネザサだけを刈り取ると、今までササに隠れていた草原性植物類が顔を出して来る。センブリ、ワレモコウ、マルバハギ、スズサイコなど。リンドウも随所に花を咲かせている。午前午後で全長約300mの刈り取り作業を終了。登山道に垂れ下がって来ていたネザサもなくなって一帯は随分明るくなり、また展望台（仮称）への尾根道から大阪湾方面への展望も良くなった。今日の作業場所ではないが、山頂の広場一帯にススキの群落が見られるようになったのも有り難い現象である。

## 【参加者】

斧田一陽、秦康夫、田島聖子、森脇肇子（会員外）計4名